

まちの魅力を大看板で発信へ 徳地の四季の写真を募集中

防府高佐波分校が来年8月末まで



山口市徳地地域の魅力を発信しようと、防府高佐波分校(同市徳地堀)の生徒たちが中心となって、美しい四季の風景を捉えた写真を募集している。来秋を予定する新しい徳地総合支所などのオープンに合わせ、新支所前のバス停の待合所や支所内を写真で彩る計画だ。来年8月末まで。

小中高生が徳地の四季の写真をPRした。背後が建設中の徳地総合支所＝1日

新支所は、防長交通防府営業所堀駐在(バス停)の東側に建設中で、地域交流センター(公民館)やホール、診療所などを併設する。中国道徳地インター1号沿いにあり、県内外の人が車で通ることから、写真で地域の良さを知ってもらおうと企画した。

季節ごとの特賞4点は、バス停の待合所の幅14メートルの大看板に掲出。入賞10点は支所内などに飾る。他に観光協会賞もあり、山口観光コンベンション協会徳地支部のホームページに掲載する。初見で、若い人が実際に足

日の1日、堀バス停で分校の生徒と近くの中央小、徳地中の児童・生徒28人が、新米など賞に応じてもらえる3千500円相当の徳地の特産品を手に入れた。佐波分校2年林恋さん(17)は「全国の幅広い世代の人たちに徳地の魅力を発信したい。写真を見て、若い人が実際に足を運ぶきっかけにもなってまちに活気が出れば」と話している。

応募は、同分校のホームページ(<http://www.ofu-sh.snsn21.jp/tokuji-insta/index.html>)か、「インスタグラム」(@saba_insta_shiki)のDM(ダイレクトメッセージ)でできる。

(吉野敦裕)

